

(様式第1号)

令和2年10月12日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名：心理・社会的支援の領域

科目名：心理的支援の知識・技術

単位数：2

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：学校法人川崎学園 川崎医療短期大学

団体事務所の所在地：〒 701-0194

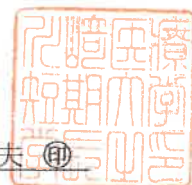
岡山県倉敷市松島 316 番地

電話：086-464-1032

FAX：086-463-4339

E-mail：shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

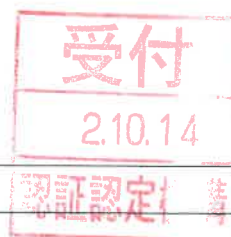


団体代表者：学 長 椿原 彰夫 ㊞

申請責任者：事務長 田中 俊行

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）



<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	令和 2 年 10 月 12 日
申請団体名	学校法人川崎学園 川崎医療短期大学
申請団体代表者氏名	学長 椿原 彰夫
申請責任者職名	事務長
申請責任者氏名	田中 俊行
団体住所	〒701-0194 岡山県倉敷市松島 316 番地
同 Tel・Fax	Tel : (086)-(464)-(1032)
メールアドレス	Fax : (086)-(463)-(4339) E-mail <u>shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp</u>
申請対象の領域	領域名 : 心理・社会的支援の領域
科目名 (単位数)	科目名 : 心理的支援の知識・技術 (2 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援の領域	
科目名	心理的支援の知識・技術	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
研修目標	○援助対象者の心理を理解・支援するうえで必要な心理学に関する知識を習得し、心理的理解と支援の方法を習得させる	
到達目標	①人間の心理と行動に関する理論を理解し説明できる ②自己と他者の心理を理解するための基本姿勢と生じやすいバイアスを理解する ③学習と欲求・動機づけの理論を理解し、支援に応用できる ④心理的理解や支援の基本的技法を知り、実践に取り入れる	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	心理学の基本的理解	○心理学の基本的理解（6時間） 【講義演習】 科学としての心理学の客観性や検証可能性、再現性について学ぶ。さらに、知覚・認知機能中心に心理学的現象の諸特性について学習する。
	自己と他者の心理的理解	○自己と他者の心理的理解（6時間） 【講義演習】 自己概念の理論について学び、性格検査を用いて、自己理解のための演習を行う。また社会的認知の理論や集団行動における心理学的特徴について学ぶ。
	学習と動機づけの理解	○学習と動機づけの理解（6時間） 【講義演習】 学習心理学の基礎理論および行動療法などの臨床的応用について理解する。また、防衛機制、動機づけについて事例や演習を通して学習する。
	心理的支援技法の基礎と実践	○心理的支援技法の基礎と実践（12時間） 【講義実習】 ストレスとストレスコーピングの理論について学習し、事例検討等で理解を深める。さらに、自律訓練法などのストレス対処法を実践的に学ぶ。パーソンセンタードアプローチや動機づけ面接の理論を理解し、マイクロカウンセリング技法などの実習を通して、面接技法を体験的に理解する。行動療法の諸理論について学び、自立支援場面や相談場面での応

		用について、ロールプレイや事例検討を通して理解を深める。
研修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 通学課程（集合研修） <input type="checkbox"/> 通信課程（通信研修） <input type="checkbox"/> 集合研修講義で行う。	
研修時間	30 時間	
修了要件	○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭などやむを得ない事情による遅刻、早退については、合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 15 分）を上限として認める。やむを得ない事情による 30 分以内の遅刻・欠席があった場合、該当科目の講師の資料またはテキストによるレポート課題を提出する。 ○筆記試験で 100 点満点中 60 点以上を得点し、合格すること。	
講師要件（講師の選定基準）	・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・修士課程または博士課程を修了している者	
(2) 受講者について		
受講対象（受講要件）	川崎医療短期大学医療介護福祉科 3 年次生	
修了評価（習得度、研修成果）	< 試験による評価 > ・筆記試験（50 問程度）100 点満点 100 点～80 点を優、79 点～70 点を良、69 点～60 点を可、59 点以下を不可とする。不可（59 点以下）の場合は、再試験を行う。 優～可（100 点満点中 60 点以上）で修了とする。 < 評価基準 > ① 人間の心理と行動に関する理論を理解し、説明できる。 ② 自己と他者の心理を理解するための基本姿勢と生じやすいバイアスを理解できる。 ③ 学習と欲求・動機づけの理論を理解し、支援に応用できる。 ④ 心理的理解や支援の基本的技法を知り、実践に取り入れることができる。	
(3) 研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	50 名（講師 4 人）	
開催場所（都道府県）	川崎医療短期大学（岡山県）	

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 令和5年4月～6年3月
	② 令和6年4月～7年3月
	③ 令和7年4月～8年3月
開催場所 (会場)	① 川崎医療短期大学
	② 川崎医療福祉大学
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当講師 (講義・評価) : 瀧川 真也 博士 (心理学)
	【職歴】 平成22年～川崎医療福祉大学 臨床心理学科 助教 平成24年～倉敷看護専門学校 非常勤講師 (～平成28年) 平成25年～川崎医療福祉大学 臨床心理学科 講師 平成31年～川崎医療福祉大学 臨床心理学科 准教授
	【講師経験・社会活動等】
	【教育歴】 川崎医療福祉大学 「心理学研究法」(臨床心理学科) 「心理学実験入門」(臨床心理学科) 「心理学実験Ⅰ」(臨床心理学科) 「知覚・認知心理学」(臨床心理学科) 「心理的アセスメント」(臨床心理学科) 「心理実習Ⅰ」(臨床心理学科) 「学習・認知心理学」(言語聴覚療法学科) 川崎医療福祉大学大学院 「心理学研究法特論」(臨床心理学専攻) 「認知心理学特論」(医療福祉デザイン学専攻) 倉敷看護専門学校「心理学」「人間関係論」
	【所属学会】 日本心理学会、日本心理臨床学会、日本認知心理学会、 日本発達心理学会
	【著書等】 なつかしさの心理学：思い出と感情 (分担執筆) こころとからだのしくみと生活支援技術 (分担執筆) 懐かしさ感情が自伝的記憶の想起に及ぼす影響：反応時間を指標として (共著論文) 嗜好品に関する回想機能の特性における年代および嗜好品間の差異 (共著論文)

	<p>主な研究業績：https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&kyoinId=yymbygboiggy</p>
担当、氏名及び略歴	<p>担当講師（講義・評価）： 竹内 いつ子 修士（臨床心理学）</p>
	<p>【職歴】</p> <p>平成 21 年～社会福祉法人はる 精神障害者就労支援施設 精神保健福祉士・生活支援員（～平成 25 年） 平成 27 年～川崎医療福祉大学 臨床心理学科 助教 令和 2 年～ 川崎医療福祉大学 臨床心理学科 講師</p>
	<p>【講師経験・社会活動等】</p>
	<p>【講師経験】</p> <p>川崎医療福祉大学 「心理学的支援法」（臨床心理学科） 「心理学入門」（臨床心理学科） 「心理実習Ⅰ」（臨床心理学科） 「関係行政論」（臨床心理学科） 「精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ」（臨床心理学科） 「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ」（臨床心理学科） 「精神保健福祉援助実習」（臨床心理学科） 「心理学理論と心理的支援」（医療福祉学科） 「医療福祉環境とデザインⅠ」（医療福祉デザイン学科） 川崎医療福祉大学大学院 「心理実践実習 A・B」（臨床心理学専攻）</p>
	<p>【所属学会】</p> <p>日本心理臨床学会、日本パーソナリティ心理学会、 日本芸術療法学会</p>
	<p>【著書等】</p> <p>集団場面での活動後のシェアリングにおける参加者間の会話の特徴—コラージュ制作と旅行計画作成との比較—（共著論文） 集団でのコラージュ制作とシェアリングにおける参加者の気分変化と親和行動（共著論文）</p> <p>主な研究業績：https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&kyoinId=Kgyykgk</p>
担当、氏名及び略歴	<p>担当講師（講義・評価）： 池内 由子 修士（臨床心理学）</p>
	<p>【職歴】</p> <p>平成 14 年～医療法人日笠クリニック 心理士（～平成 21 年） 平成 25 年～川崎医療福祉大学附属心理・教育相談室 受付相談員（～平成 30 年） 平成 30 年～川崎医療福祉大学 臨床心理学科 助教</p>
	<p>【講師経験・社会活動等】</p>

	<p>【講師経験】 川崎医療福祉大学 「心理実習Ⅰ」（臨床心理学科） 「心理学実験Ⅱ」（臨床心理学科） 「心理学的支援法」（臨床心理学科） 川崎医療福祉大学大学院 「臨床心理面接特論A、B」（臨床心理学専攻） 川崎リハビリテーション学院 「臨床心理学」 川崎医療短期大学 「発達と老化の理解Ⅰ」（医療介護福祉科）</p> <p>【所属学会】 日本心理学会、日本心理臨床学会、日本小児保健協会、 日本自閉症スペクトラム学会</p> <p>【著書等】 長期不登校の女子中学生との面接過程． 川崎医療福祉大学 附属心理・教育相談室年報． 93-103. 2002.</p> <p>主な研究業績：https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&kyoinId=Kgyysseg</p>
担当、氏名及び略歴	<p>担当講師（講義・評価）： 岡野 維新 修士（臨床心理学）</p>
	<p>【職歴】</p>
	<p>平成 25 年～医療法人鯉山会こころクリニック</p>
	<p>平成 30 年～川崎医療福祉大学 臨床心理学科助教</p>
	<p>【講師経験・社会活動等】</p> <p>【講師経験】 川崎医療福祉大学 「心理実習Ⅰ」 「臨床心理学実践実習Ⅲ・Ⅳ」 「心理的アセスメント」 「心理学入門」 川崎医療福祉大学大学院 「心理実践実習 A～C」 「臨床心理基礎実習 A・B」 「臨床心理学面接特論 A・B」 「心理学研究法特論」 倉敷中央高等学校 「人間関係論」</p> <p>【所属学会】 日本心理臨床学会、日本発達心理学会、日本パーソナリティ 心理学会、日本小児保健協会、日本発達障害学会 など</p>

	<p>【著書等】</p> <p>○ 学童期における ASD 児の情動制御方略について実験的観察法を用いた検討（共著論文）</p> <p>○ Preliminary study of emotional regulation strategies in elementary school children with autism spectrum disorder : Evidence from experimental observational method. (学会発表)</p> <p>主な研修業績：https://kwwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&kyoinId=Kgyybgbb</p>
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	川崎医療短期大学 医療介護福祉科
研修の企画運営に関する 諸規程	川崎医療短期大学学則、川崎医療短期大学履修規程
研修管理責任者職名	川崎医療短期大学 医療介護福祉科 主任
研修管理責任者氏名	山田 順子
機構問合先部署	川崎医療短期大学 医療介護福祉科 主任
機構問合先担当者氏名	山田 順子
機構問合先電話番号/FAX	Tel 086-464-1032 / Fax 086-463-4339
機構問合先 e-mail アドレス	yamada@jc.kawasaki-m.ac.jp
受講問合先部署	川崎医療短期大学 事務室
受講問合先担当者氏名	大戸 知子
受講問合先電話番号/FAX	Tel 086-464-1032 / Fax 086-463-4339
受講問合先 e-mail アドレス	shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	川崎医療短期大学事務室
受講履歴の管理方法	学校法人川崎学園大学事務局情報システム室が管理している学務管理システム及び電子出席簿システムを使用する。システムデータは原則永年保存とする（最低 10 年）。個人情報取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	卒業時または退学時に研修修了証を発行する。
管理責任者氏名	事務室 事務長 田中 俊行
管理担当者氏名	事務室 大戸 知子

(別添資料)

集合研修における具体的なコマシラバス

申請対象の領域 心理・社会的支援の領域

科目名 心理的支援の知識・技術

集合研修の総時間数 30時間

第1回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45~10:15	心理学の理論と展開	本講義の目的とスケジュールについて説明を行う。 科学としての心理学(心の科学)の客観性、検証可能性、再現性について心理学の研究法をもとに説明する。また、クリティカルシンキングなどの演習を行い、論理的思考について体験的に学習する。		瀧川真也

第2回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45~10:15	知覚と注意	心理学における知覚と注意の基礎理論を学ぶ。さらに錯覚やヒューマンエラーなどの演習により主観的世界と客観的世界とのずれについて体験的に学ぶ。		瀧川真也

第3回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	記憶と思考	記憶のプロセスや機能，思考の諸特性について学ぶ。 また、虚記憶や認知バイアスなどの演習を通して、主観的な認知の歪みについて体験的に理解する。		瀧川真也

第4回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	自己理解	自己概念を構成する個人的アイデンティティと社会的アイデンティティについて学ぶ。また、性格検査を用いて、自己理解のための演習を行う。	性格検査（質問紙）を用意する。	竹内いつ子

第5回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	社会的認知	印象形成、ステレオタイプ、原因帰属など社会的認知の基礎理論を学ぶ。また、印象形成やステレオタイプに関する演習を行い、対人認知場面でのバイアスについて理解する。		瀧川真也

第6回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師

				(補助講師)
8:45～10:15	集団心理	<p>集団や社会における思考や行動の特性(行動理論)について、援助行動や同調、社会的促進・抑制などの観点から学ぶ。</p> <p>集団場面での社会的促進・抑制について演習を通して体験的に理解する。</p>		瀧川真也

第7回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45～10:15	学習心理	レスポナデント条件づけやオペラント条件づけなどの条件づけの基本原理を学習する。また、学習理論の臨床的応用として行動療法について学び、応用可能な行動療法の事例を通して、理解を深める。		瀧川真也

第8回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45～10:15	欲求と適応	生得的動機や社会的動機、マズローの欲求階層説などの動機づけ基礎理論を学習する。さらに防衛機制の機能について学び、事例を用いて理解を深める。		竹内いつ子

第9回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	動機づけ	達成動機や内発的動機づけなどの動機づけの応用理論を学習する。また、効力期待や結果期待、アンダーマイニング効果などの動機づけの決定について学び、臨床場面での応用可能性について検討する。		瀧川真也

第10回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	ストレスとストレスコーピング(1)理論	ストレッサーやストレス反応などストレスに関する基礎理論を学ぶ。また、ストレスコーピング理論およびストレスと関連するバーンアウトについて理解する。		池内由子

第11回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	ストレスとストレスコーピング(2)演習	ストレスコーピングの臨床的応用について事例を用いて理解を深める。さらに、緩和自律訓練法の実習を通して、ストレス緩和を体験的に学ぶ。		池内由子

第12回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師
----	-----	----------------------	-------	------

				(補助講師)
8:45～10:15	心理面接(1)理論	パーソンセンタードアプローチや動機づけ面接、傾聴技法(傾聴的態度と受容)などの心理面接技術を学ぶ。さらに事例検討を通して、心理面接の理解を深める。		岡野維新

第13回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容(講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45～10:15	心理面接(2)演習	心理面接技術の応用として、傾聴やマイクロカウンセリング技法を演習やロールプレイを通じて、体験的に学習する。		岡野維新

第14回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容(講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45～10:15	行動療法(1)理論	スモールステップ、即時フィードバックなど行動療法の基礎理論を学ぶ。また、行動療法や認知行動療法について事例を用いて理解を深める。		瀧川真也

第15回授業 (2時間)

時間	テーマ	展開内容(講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45～10:15	行動療法(2)演習	行動療法および認知行動療法の介護場面での臨床的応	修了評価:期末定期試験	瀧川真也

		用について、自立支援や相談援助での活用などをロールプレイや演習を通して学ぶ。	期間中に実施する。	
--	--	--	-----------	--